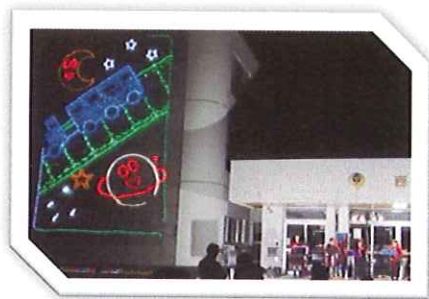


つどう

まなぶ

むすぶ

福井市の公民館



第9号



福井市公民館一覽

ブロック	No	館名	所在地	電話番号	掲載号	ブロック	No	館名	所在地	電話番号	掲載号	
あたご	1	木田	木田1丁目1401	36-0042	6号	光	28	安居	本堂町7-4	37-1234		
	2	豊	みのり3丁目106-8	34-0344			29	一光	下一光町6-5	37-0168	5号	
	3	足羽	足羽2丁目12-31	35-0041	7号		30	殿下	風尾町1-13	97-2377		
	4	湊	学園1丁目4-8	22-0032			31	越廼	茶崎町1-68	89-2182	7号	
不死鳥	5	春山	文京3丁目11-12	22-0057	2号		32	清水西	大森町20-43-1	98-4560		
	6	宝永	松本4丁目8-4	22-0036			33	清水東	三留町14-11-1	98-4510	8号	
	7	順化	大手3丁目11-1	20-5458			34	清水南	風巻町21-17	98-4590		
	8	松本	文京1丁目29-1	22-0085	8号		35	清水北	グリーンハイツ5丁目131	98-5477		
	9	日之出	四ツ井1丁目7-24	54-0040	9号		川西	36	大安寺	四十谷町5-20-1	59-1001	3号
	10	旭	手寄2丁目1-1	20-5364				37	国見	鮎川町195-7	88-2004	4号
	11	日新	文京5丁目1-8	21-7225	3号			38	鶉	砂子坂町5-58	83-0433	
みなみ	12	清明	下荒井町8-414	38-0043		39		棗	石橋町4-14	85-1495		
	13	東安居	飯塚町6-18	35-9566	4号	40		鷹巣	蓑町16-2-1	86-1001		
	14	社南	種池2丁目206	35-9559		41		本郷	荒谷町19-55	83-0582	6号	
	15	社北	若杉4丁目308	35-9111	創刊号	42		宮ノ下	島山梨子町22-9	59-1150		
	16	社西	久喜津町65-23	34-7910	2号	足羽	43	酒生	荒木新保町37-9-5	41-2503	9号	
	17	麻生津	浅水三ヶ町1-93	38-4383	6号		44	一乗	西新町1-31	43-2001		
あずま	18	和田	御幸4丁目9-20	22-0038	8号		45	上文殊	北山町34-1	41-0516	3号	
	19	円山	北今泉町7-12	54-0048	5号		46	文殊	太田町4-11-2	38-0550	2号	
	20	啓蒙	開発1丁目2105	54-0046			47	六条	天王町43-4	41-1001		
	21	岡保	河水町10-13	54-2519	7号		48	東郷	東郷二ヶ町6-13-1	41-0306	5号	
	22	東藤島	藤島町48-1-1	54-0039			49	美山	美山町2-12	90-7111		
九頭龍	23	西藤島	三郎丸1丁目1410	22-0040	9号	50	中央	手寄1丁目4-1	20-5459	創刊号		
	24	中藤島	高木町64-11-4	54-0045								
	25	河合	川合鷺塚町9-18	55-0001								
	26	森田	下森田藤巻町2	56-0195	創刊号							
	27	明新	灯明寺町35-1-1	22-7880	4号							



《福井市の公民館に思う》



あしあと

元県公民館連合会長・元市公民館連絡協議会長

元麻生津公民館長 木村 健

平成12年4月麻生津公民館長を拝命しましたが、私は当時自治会長もしておりましたので、公民館の運営が社会教育事業の一環であることは理解いたしておりました。

さて、ご承知のように福井市の公民館は、昭和21年の文部次官通牒「公民館設置運営について」に基づき誕生し、活動が展開され、昭和24年には公民館を法的に支える社会教育法が制定されました。そして、長い歴史の中で30回を超える改正が行われております。

つまり、大きな時代の流れの中であって、公民館を取り巻く環境も年々変化すると共に公民館の役割もまた時代と共に変わってきたのは当然のことです。

この様な社会・経済情勢の変化に対応して、福井市が昭和59年行政改革で、各地区にあった出張所を廃止したことにより、公民館は「地域学習の場」、「各種団体活動の場」、「住民の交流・憩いの場」、「地域づくりの拠点の場」としての重要な役割に加えて、行政事務をも担当することになりました。少数の職員体制、また非常勤という不安定な身分、週30時間の変形労働時間、時間外手当無しという労働条件下で、公民館の職員は、地域発展のため頑張ってきたのであります。

平成15年6月、文部科学省は、「公民館の設置及び運営に関する基準」の告示で、求められる役割を十分果たすことができるよう、職員等の適正数の配置、識見と経験・専門的知識と技術を有する者の配置、資質と能力の向上を図るための研修の充実に努めるようにと、都道府県教育委員会に通知しましたが、これらの実現は殆どどの項目が先送りされたと承知しているところであります。

平成6年、酒井市長が誕生し、「うらがまちづくり推進事業」を進めることになりました。この中で福井市の公民館職員は、「扇の要」として活動を展開し、その取組は全国から注目されると共に、高く評価されました。この間、昼夜を問わず懸命に活動する各地区公民館職員の姿を見聞きし、「市長と語る会」でも職員の待遇改善や公民館のあり方について要望をして参りました。

因みに、麻生津地区におきましては、地区民の参加・参画による「音楽のまちづくり」事業等が認められ、平成19年10月、優良公民館として文部科学大臣賞を受賞することができましたことは、私にとって満腔の喜びでありました。

終わりに、教育機関として法的に位置付けられた公民館設置の目的を踏まえると共に、現代的課題も見据え、目標が実現致しますよう、市公連に結集する皆様にご期待申し上げる次第であります。

私は、これからも「喜怒哀楽」という四字熟語を共(友)にして歩いて行く所存であります。

歴史と自然と生活が共存する日之出地区

— 住みたくなるまち、住み続けたいまち、日之出 —

日之出公民館

1 日之出地区の概要

日之出地区は福井市の東部に位置し、東は国道8号線、西はJR北陸線、南は旭・和田地区と隣接し、北方には、えちぜん鉄道勝山線が走っている。東西1.5km 南北1.5kmのコンパクトな地区である。

市街地でありながら一部に田園風景が残り、荒川をはじめ、古川・赤川・芝原用水などの川の流れも豊富で、緑に囲まれた公園も多く、静かで生活しやすい地区である。福井県立病院・福井市保健センター・福井市子ども急患センターなどの公共医療機関や開業医をはじめ介護施設も多く、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる環境にある。また、こども歴史文化館などの文化施設や学校・幼稚園・保育園・児童館などの教育施設に恵まれ、スーパーマーケットやドラッグストア・コンビニも多く買い物にも便利な場所である。

「日之出」の名称は、かつて福井城下から四方に通じる7つの城門のうちの一つが外堀の東側にあり「日之出御門」と呼ばれたことに由来する。この日之出御門は枡型(小広場)を挟んで二重の門となり、これを「中島二つ門」と呼んだ。また、日之出地区には、永平寺に関わる歴史的な史跡や地名が残っているのも特徴である。平成29年9月1日現在、世帯数3,364戸、人口7,643人で、少子高齢化・人口減少が進んでいる。

2 日之出っ子は日本の宝

— 未来を担う子どもたちを育てよう! —

(1) まち探検ウォークラリー ～ お宝発見! ～

日之出地区には、永平寺に関わる歴史的な寺院や地区の名称の由来になった「日之出御門」や「中島常福坊の井」など、一般にはあまり知られていない史跡が数多く残っている。これらの埋もれた日之出の宝を掘り出し、記録に残して地域の誇りにしようと、日之出小学校児童によって組織された「ひのでっこラボ」を中心に、毎年10月に「まち探検ウォークラリー」を実施している。ひのでまちづくり協議会と青少年育成会が共催して、日之出小児童・教員・保護者と、まちづくり

地域連携部会員が参加している。日と観音・中島常福坊の井(四ツ井の井戸)・日之出御門跡・川上神社・仙寿院(お茶場)・秋葉神社を訪れたが、初めて知ったという人が多く、ウォークラリーの効果を確認できた。今後も続けて実施し、最終的には、「日之出の宝マップ」を作りたいと考えている。



(2) クリーン大作戦 ～みんなのまちを美しく～

例年春と秋の2回、通学路と小学校に隣接する公園の清掃活動を、青少年育成会・ひのでっこラボ・まちづくり協議会・地区団体の共催で、10年以上実施している。子どもたちに奉仕活動の意義と大切さを体験してもらい、ボランティア精神を培うことを目的に行っており、毎回多くの子どもたちが積極的に参加してくれている。

(3) 花いっぱい運動 ～ひまわりを植えよう～



毎年、各団体の協力を得てひまわりの植栽を行っている。種まきから水やりなどの日常管理まで、まちづくりふれあい

部会が中心になって実施し、子どもたちも協力している。公民館の花壇を整備して何種類かの大型のひまわりを地植えしている。満開の頃には公民館の名物となり、地区の方々からも大変喜ばれている。

(4) 河川パトロール ～ 地域の川を学ぼう ～



まちづくり協議会の主催で、毎年9月に実施しており、日之出小学校の5年生児童が全員参加している。地

区を流れる、荒川・古川・赤川・芝原用水をパトロールして河川の歴史や役割を学ぶと共に、水質調査やごみ拾いも実施している。子どもたちは地域の環境学習として、総合的な学習の時間に活動のまとめを行い、事後の学習に生かしている。

3 郷土学習の推進

－ 日之出地区を知り、誇りを持とう！ －

市民憲章5の実践目標「わがまちふくい(日之出)まなんで知って誇りを持とう」の実践に重点を置き、毎年郷土学習の内容を工夫して取り組んでいる。歴史・産業・食生活・自然・政治・文化など、広範囲にわたって、偏りのないようバラエティに富んだ内容を企画して実施している。

(1) 食の大切さを学ぶ

近年、食育の重要性が叫ばれる中、本館でも郷土学習において食に関する様々な事業を行っている。

平成27年6月には、石塚左玄塾理事長の岩佐勢市氏を講師に招いて、食育の祖と言われる石塚左玄についての講演をいただき、改めて食の大切さや地産地消の大切さを学ぶことができた。

また、同年11月には、石塚左玄を学んだ後の実践



講座として、「野菜のチカラ」をテーマに講演会を開催した。野菜ソムリエとして活躍されている中島早苗氏を講師に招いて、

チョコで生野菜を美味しく食べる「チョコベジ」について楽しく学んだ。

そして、昨年9月に



は、オリーブオイルソムリエの中辻美紀氏を講師に招いて、オリーブオイルについての基礎から効能・美味しく食べる方法などについて学んだ。

(2) 地区内の施設を知る

～ 県陽子線がん治療センターの見学 ～

日之出地区にある福井県立病院には全国的にも数少ない陽子線がん治療センターがある。平成28年7月に、地区民として初めて施設の見学をし、講演をいただく機会を得ることができた。

普通では見るできない陽子線発生装置や照射設備を見たり、担当技師の方から詳しく講義をいただいたりして、全国屈指の設備が日之出地区にあることに誇りを感じ、大変有意義な一日となった。



4 終わりに

現在地に日之出公民館が落成してから20年が経過している。完成当時は、田園の真ん中にポツンと建つような場所であったが、今では住宅や保育園、クリニックなどに囲まれて昔の面影を見ることはできない。それでも閑静な環境にあることに変わりはなく、日之出地区は、犯罪や交通事故も少なく、“安全安心なまち”を自負している。また、地区活性化に欠かせない人づくりも50～60代の年齢層が担い手となってきている。ひのでふれあいフェスタ(夏まつり・秋の文化祭)や防災訓練・クリーン大作戦・区民体育祭など、地区の行事への参加人数は年々増加傾向にあるが、引き続き人材の発掘・育成が重要な課題となる。

今後も、地域の宝であり将来を担う子どもたちの健全育成や、若い世代にとっても魅力のある行事への取組等に力を入れていきたい。

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちに関わる事業が数多く行われ、地域の皆様の、日之出の将来を担う子どもたちへの温かい愛情と大きな期待を感じることができます。

今後も、充実した公民館活動によって、安全安心で住みよいまち・日之出が、ますます活気ある地区になることをお祈りします。

藤と桜が美しい“にやかしのまち”

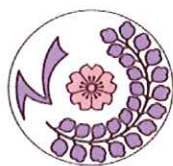
— 連携と協働を生かした地域の拠点づくり —

西藤島公民館

1 西藤島地区の概要

福井市の北西部に位置し、日野川・足羽川・九頭竜川に囲まれており、昔ながらの集落と新興住宅が融合する地区である。沿道には県立武道館をはじめ、日野川浄化センター、中消防署西分署、福井市防災ステーション、福井ホースパークなどの公共施設が建ち並んでいる。

春の日野川堤防にはソメイヨシノや枝垂れ桜が咲き誇り、美しい景観を眺めることができる。また、年間を通じて、堤防沿いの「ふれあい遊歩道」はジョギングやウォーキング、サイクリングを楽しむ人たちが賑わっている。足羽川の桜並木にならぶ福井市の名勝地とも言える。



西藤島地区は永年にわたり、ふるさとおこし事業に取り組んできた。そのキャッチフレーズである“藤と桜の里 西藤島”のシンボルマーク

は公募により作製されたものである。地区内全ての自治会には“藤と桜”が植えられ、住民の手で大切に育てられてい



る。“藤”は、西藤島の地名にちなんで、約30年前から植え始めた。それぞれの花の時期に、地区内が花いっぱいになることを夢見て取り組んだ事業である。

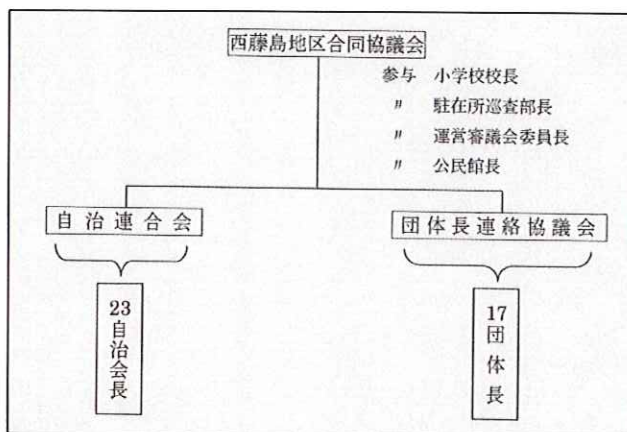
またこの地は、幾度となく水害に見舞われた地域である。その土地が、明治30年頃の杉田定一氏による治水事業で生まれ変わった。彼は莫大な私財をなげうって、九頭竜川と日野川の治水工事に尽力し、川沿いの地域を水害から救った。住民にとってはこの上ない喜びであり、感謝の意を表しその歴史を後世に伝えるために、「杉田定一治水謝恩碑」と「治水百周年記念碑」が公民館近くに建立されている。

平成29年9月1日現在の世帯数は1,698戸、人口は4,838人である。

2 特色ある組織“西藤島地区合同協議会”

本地区には「合同協議会」という組織があり、地区の最高議決機関となっている。地区の五大事業である「こんにちはファミリーウォーク」「区民体育祭」「にやかし祭り」「敬老会」「文化祭」の前には必ず開催し、実施要項を検討して徹底を図っていく大切な機関となっている。これらの行事の他に、地区に共通する諸問題を協議したり、調査研究したりする機関でもある。

他の地区には見られない特色ある組織であり、各自治会や各団体、地区内の小中学校など、地区全体の一体感と連帯意識を高める上でも貴重な協議会として機能している。



3 「こんにちはファミリーウォーク」の実施

毎年4月に桜の開花時期に合わせて、地区民を中心にしたファミリーウォークを開催している。地区の史



【横断幕を掲げ、参加者全員で記念撮影】

跡や名所を訪れ、それらを詳しく知り、地域愛を深めることを目的としている。さらに参加者相互の親睦と健康増進を図ることもねらっている。

例年 200 名程度が参加し、完歩賞を目指して約 8 km の行程を歩く。その道中では、自主グループ「西藤島郷土歴史くらぶ」のメンバーが、史跡「祇王祇女屋敷跡」「西藤観音堂」「郡(こおり)の首塚」「小黒丸城址」の解説をする。毎年繰り返してその解説を聞くことにより、知識として残る内容も多い。三世代家族で参加したり、社会体育のクラブで参加したりして、老若男女が集える大きな行事となっている。

4 次世代を担う青少年を育てる活動

(1) ちまきづくり体験 ～小学3年生を対象に～

毎年6月頃に、地区の社会福祉協議会が中心になり、お年寄りや福祉委員、ボランティアの人たちが、小学生にちまきづくり方を教えながら交流する機会を設けている。



「こうやって葉っぱを包むんだよ」

近くの山林で笹の葉を刈り取る作業に始まり、その葉を洗ったり、材料を揃えたりして、地区民が事前に何日もかけて準備をする。

当日は、ちまきづくりをした後、出来上がったばかりの美味しいちまきを一緒に味わう。蒸している間には、小学生が感謝の気持ちを込めて、学習発表をする時間もあり、地区民と児童とがふれ合えるひとときである。

(2) 真夏の「成人のつどい」

～20歳の青年を対象に～

本地区では、お盆の時期に合わせて成人式を行っている。「夢プラン西藤島」が中心となって取り組み地区内の若者が集うきっかけづくりになるように企画・運営を工夫している。今までは西藤島小学校卒業生を中心とした同窓会形式であったが、2～3年前から、20歳を迎える地区民にも呼びかけて参加を募っている。郷里を離れて県外で生活している青年や本地区へ引っ越してきた青年も含めて参加できる集いである。実行委員は新成人が務め、「成人」としての自覚を持ち、地区を愛する心を育てるとともに、地区の担

い手として活動していけるよう、この機会を利用して大人がサポートしている。



第1部の儀式に続き、第2部

では、地区の人たちから手づくり料理がふるまわれ、楽しい集いが繰り広げられる。若者たちは、思い出話にいつまでも花を咲かせている。

5 終わりに

将来のリーダー育成を見据えて、当地区では中学生との交流も進めている。例年、区民体育祭では各種競技の補助をはじめ、記録係や競技の案内などを行っている。また、文化祭では、吹奏楽部の演奏を通じて地区住民との交流を行っている。他の行事の中で、どのようなことができるかをみんなで考えていきたい。

中学生との打ち合わせは、土曜日から日曜日にしかできず、時間的な制約があるので実施することが難しいが調整しながら行っていく予定である。

今後はさらに一歩進めて、地区の五大事業等に関して、青年層に企画の段階から参画してもらおうと考えている。若い人たちの発想を生かした取組を大いに期待している。このような運営を毎年繰り返していくことにより、さらに活性化された事業、時代にマッチした事業が展開されるものと思われる。また、若い世代の地区行事への参加も自然に多くなっていくと考える。来年度に向けて、その取組を計画しているところである。

「にやかし」とは、「にぎやか」という意味の福井弁「にぎやかなしい」が語源であると聞いている。この言葉が象徴しているように、会話がはずみ、老若男女が住みやすいまちづくりを目指して、今後も努力していきたい。

「合同協議会」は珍しい組織ですが、それが地域を支える機動力となっているように思います。地区民の思いと公民館活動がうまく融合されて各行事に繋がり、住民同士の結びつきを強めていることが素晴らしいと思います。また、次世代の育成と支援に多くの大人が関わり、若者を地域の一員として自然な形で行事に参画させている様子が見られます。今後も温かく見守ってほしいと願っています。

歴史が息づく いにしえロマンの里

酒生公民館

1 酒生地区の概要

福井駅より東方に位置する酒生地区は元足羽郡酒生村である。町村合併により足羽村から足羽町への変遷をたどり、昭和 46 年に福井市に合併してから現在に至る。

地区には、梅野・稲津・荒木新保・荒木・成願寺・篠尾・高尾・前波・宿布・高尾第一・篠尾台の 11 町内が、国道 158 号線に沿って東西に細長く点在している。高尾第一は、篠尾町から高尾町にまたがる天神山を開発して造成された新興の町である。

足羽川の北側に位置して北陸自動車道の福井インターを有している。北側には、岡保地区、西側には、和田地区、東側には、美山地区、南側には、東郷地区、六条地区と境を成している。

成願寺町、篠尾町、高尾町一带には古墳が多く点在し、特に篠尾町にある廃寺跡五重塔礎石と天神山古墳群（酒生古墳群）は有名である。

平成 29 年 9 月 1 日現在の世帯数は 1,149 戸、人口は 3,379 人である。

2 遺跡祭りで地区住民の団結を

福井市の施策である「うらがまちづくり推進事業」の一環として、酒生地区では、平成 9 年に遺跡祭りがスタートした。酒生まつり推進協議会を立ち上げて、イベントのテーマを何にするかについての話し合いが重ねられていった。その中で、①一乗谷より早く酒生地区が栄えていたということ、②酒生地区に点在している古墳群が 330 基余りあり北陸最大規模であるということ、酒生をあらわすには、遺跡が最適であろうということになり、遺跡祭りが始まった。

7 月の第三土曜日に開催されている地区最大のイベントである。小学生や青年グループ「さこう工務店」が祭りを盛り上げている。古墳時代をイメージした衣装を着て、灯火行列を行い、11 自治会長がグラウンドの聖火台で点火をして、地区の団結を祈願している。

平成 16 年の福井豪雨で地区内の前波が浸水被害に



【灯火行列】

あったので、この年の遺跡祭りは中止になり、本年度で丁度 20 回目になり、7 月 15 日（土）に「おめでとう！はたちの酒生遺跡祭り」と盛大に開催された。

開会式では、酒生まつり推進協議会の吹矢会長が、「この催しは、みんなが酒生地区の尊い歴史に愛着と誇りを共有して、親睦をいっそう深める絶好の機会があります。ご家族で参加して、大人も子どもも和気あいあいと楽しく過ごし、そして、明日からのより良い酒生づくりにつながることを願っています。」と挨拶をして始まった。

地区全戸に事前に配布されたプログラムには、次のように招待文が書かれている。



【楽しいプログラム】

「酒生遺跡祭り」は今年 20 歳になったよ！今年の遺跡祭りは、火おこしや勾玉づくりを体験できる古代体験村が登場。子ども会育成会の「酒生ふるさ

とかるた選手権」では、グラウンドで「大きなかるた」をみんなで楽しみ、酒生小学校PTA教育企画事業では、子どもたちの手作りスタンプによる巨大パネルの前で、夢を乗せた風船を大空に飛ばします。他にも幻想的なピオトープ周辺のライトアップやますますパワーアップした屋台村など、20周年記念イベントが盛りだくさん！是非ご家族そろって参加してね！
さこんちゃんより

「遺跡祭り」は、午後3時の屋台村の開村から始まり、午後8時35分の打ち上げ花火のフィナーレまで、大変盛りだくさんの内容である。

3 「さこう工務店」が地域を支える



【おめでと二十歳のパーティー】

平成13年の福井市の「青年活性化事業」を受け、酒生地区では、平成15年に、青年グループ「さこう工務店」が発足した。発足までには、地域の方々のご苦勞があり、それが実を結んだのである。「さこう工務店」のユニークなネーミングは、土木建築のように、自分たちが酒生の土台を作っていくという意味である。活動目的は、①地区の行事に積極的に参加し、地域の方々との交流を深める。②行事や屋台の企画や運営を行い、仕事では得られない体験や達成感を味わう。③気の置けない仲間たちと自由に語り合う。主な活動は、①おめでと二十歳のパーティー 新成人のお祝いの式典・宴会の企画運営と「さこう工務店」への勧誘。②さこうウォーカー 地域の清掃を行いながら、地区内を散策し、地区内の特色を知る。③遺跡祭り 屋台の出店とステージ発表を行い、地域の方々との交流を深める。④もちつき大会 杵と臼を使ったもちつきを子どもたちが体験

し、できたてのおもちを振る舞う。活動の成果としては、地域の人から声をかけられ、自分たちが活動していることでこんなに喜んでもらっているということを実感している。また、子どもたちの憧れの存在になっている。将来、自分たちがこの地区を支えていくのだという意識を持つようになった。地区全体でお互いの活動を認め合い、温かく支援していく風土が生まれた。平成18年度には、日本青年団協議会より、長期間にわたる実践活動が認められ、「地域青年実践大賞奨励賞」を受賞している。



【足羽一中のお店】

また、公民館では、中学生を公民館活動に引き込むために、4年前から、5月に行われている区民体育大会で、中学生たちが企画したお店を出店し、他の団体のお店のスタッフとして手伝いもしている。

4 終わりに

「さこう工務店」を経験した若者が地区内の各種団体の役員になり活動しているので、公民館活動も大変円滑に進められている。また、中学生に公民館活動に参加してもらうために、中学校、保護者、中学生本人と何回も話をし、理解をしてもらえようになり、今年で3年目になった。これからも、継続的に公民館活動への理解を得られるような取組をしていくための地道な活動を続けていきたい。

公民館のホームページが頻繁に更新されているので、日々どのような活動が行われているのかを知ることができます。また、「遺跡祭り」のプログラムは、毎年楽しいアイデアがいっぱい詰まったものになっていて、地区の人たちにとって待ち遠しい楽しみになっているように思います。

「福井市の公民館」 ～つどう まなぶ むすぶ～

創刊号からのバックナンバーを

福井市中央公民館ホームページでご覧いただけます。



<http://www1.fctv.ne.jp/~cyuou-k/sub5.html>



中央公民館ホームページ

QR コード

第9号 掲載館

公民館名	住所	電話番号	メールアドレス
日之出公民館	〒910-0846 福井市四ツ井1丁目7-24	(0776) 54-0040	hinode-k@mx1.fctv.ne.jp
西藤島公民館	〒910-0033 福井市三郎丸1丁目1410	(0776) 22-0040	nifuji-k@mx1.fctv.ne.jp
酒生公民館	〒910-2172 福井市荒木新保町37-9-5	(0776) 41-2503	sakou-k@mx1.fctv.ne.jp

福井市の公民館 第9号編集委員

中央公民館運営審議会委員	稲田 勝子・鋸屋恵美子
生涯学習室	岩佐 誠
社会教育指導員	稲葉 友昭・吉田 郁子
	田中 政広
中央公民館	平馬 吉隆・小清水直美
	田村 榮子・塩崎めぐみ



福井市の花 あじさい

公民館の歌 (自由の朝)

山口晋一 作詞
下総皖一 作曲

快活に ♩ = 104

一. は い わ の は る に あ た ら し く
二. こ ろ の は な の に お や か に
三. は た ら く も の の や す ら か に

ど を お こ す よ ろ こ び も こ う み ん か ん の
ど に い き る た の し き も こ う み ん か ん の

つ ど い か ら と き け あ う こ ろ な り ご つ や く か し
つ ど い か ら と き け あ う こ ろ な り ご つ や く か し
つ ど い か ら と き け あ う こ ろ な り ご つ や く か し

に い に じ ぶ あ じ ぶ あ の の あ い さ を た く た え よ う
に い に じ ぶ あ じ ぶ あ の の あ い さ を た く た え よ う

公民館の歌 (自由の朝)

山口 晋一 作詞
下総 皖一 作曲

一. 平和の春に あたらしく
郷土を興す よろこびも
公民館の つどいから
とけあう心 なごやかに
自由の朝を たたえよう

二. 心の花の におやかに
郷土にひらく ゆかしさも
公民館の つどいから
希望を胸に 美しい
文化の泉 くみどろう

三. 働くものの 安らかに
郷土に生きる たのしさも
公民館の つどいから
まどいになごむ ひとときに
明日への力 そだてよう

公民館の歌 **自由の朝** について

昭和21年(1946年)7月、文部次官通牒により「公民館の設置」が奨励され、これを受けて9月には、「公民館設置促進中央連盟」が官民の協力で結成されました。

この連盟と毎日新聞社が、文部省後援により実施したのが、公民館活動の理念を示す「公民館の歌」の歌詞の全国募集です。全国からの1,017件の応募から作家の川端康成、文部省(当時)、日本放送協会、毎日新聞社、日本レコード協会などの代表による審査団によって選ばれたのが、この歌詞です。

なお、作曲者の下総皖一は明道中学校、藤島高等学校の校歌を作曲しています。

福井市の公民館

監修 福井市生涯学習室
発行 平成29年10月
福井市中央公民館
〒910-0858
福井市手寄1丁目4-1
TEL 0776-20-5459
FAX 0776-20-1538
Eメール: cyuou-k@mx1.fctv.ne.jp
http://www1.fctv.ne.jp/~cyuou-k